

別記様式第3号

## 匿名データの審査表

統計調査名	国民生活基礎調査			
匿名化処理の内容	匿名化処理基準	平成28年 (追加年次)	変更理由・備考	検証結果 (統計研究研修所記入欄)
母集団情報	22年国勢調査 調査区名簿	同左		
リサンプリング	<b>【第一段】</b> 国勢調査区抽出 都道府県・指定都市の国勢調査区数に比例するよう、都道府県・指定都市別に国勢調査区をリサンプリング <b>【第二段】</b> 世帯抽出 第一段でリサンプリングされた国勢調査区から世帯をリサンプリング <b>抽出率:</b> 全体の約2割	同左		
しきい値	1%	同左		
世帯・個人識別情報の匿名化	以下の世帯を削除 ①世帯人員が8人以上の世帯 ②父子世帯 ③年齢差の大きい夫婦のいる世帯 i 夫が妻より20歳以上年上 ii 妻が夫より15歳以上年上 ④年齢差の大きい又は小さい親子のいる世帯 i 父親と末子の年齢差が55歳以上 ii 母親と末子の年齢差が50歳以上 iii 父親と長子の年齢差が15歳以下 iv 母親と長子の年齢差が10歳以下 ⑤同一年齢階級に4人以上の人員がいる世帯	同左		
ノイズやスワッピング処理	なし	同左		
世帯・個人を特定できる外部の情報の有無	なし	同左		
データの並び替え	同一世帯の世帯員は世帯員番号順を保ったまま世帯単位に乱数によりランダムに並び替え、その後データの世帯番号を付与	同左		
<b>提供項目等〔世帯票〕</b>	○:原則そのまま提供 ▲:匿名化を講じて提供 ×:提供しない			
都道府県	×	×	地理的情報	
地区番号	×	×	地理的情報	
単位区番号	×	×	地理的情報	
世帯番号	×	×	地理的情報	
世帯人員数	▲	▲	世帯・個人識別情報の匿名化による秘匿措置	
世帯構造7分類	▲	▲	世帯・個人識別情報の匿名化による秘匿措置	
世帯類型	▲ 父子世帯はレコード削除	▲	同左	
住居の種類	○	○		
建て方	○	○		
居室数	▲ 10室以上トップコーディング	▲	同左	
住宅の床面積	▲ 20㎡未満ボトムコーディング 300㎡以上トップコーディング	▲	同左	
単独世帯の区分	○	○		
同居していない者の状況	▲ 老人福祉施設入所者、社会福祉施設入所者、長期入院者を統合「入院・入所」は2人以上でリコーディング「単身赴任」「学業」は3人以上でリコーディング	▲	老人福祉施設入所者、社会福祉施設入所者、長期入院者を統合。「学業」は3人以上でリコーディング	学業以外、3人以上はいないため、そのまま提供
家計支出総額	▲ トップコーディング 単独世帯55万円以上 2人以上世帯100万円以上	▲	同左	
育児費用	▲ 7万円以上トップコーディング	▲	同左	
親への仕送り	▲ 6万円以上トップコーディング	▲	同左	
子の仕送り	▲ 16万円以上トップコーディング	▲	同左	

(注1) 初めて匿名データを作成する統計調査の場合は、「匿名化処理基準」欄は使用しない。

(注2) 記載例を参考に必要な事項を記載し欄を追加する。

## 匿名データの審査表

統計調査名	国民生活基礎調査		平成28年 (追加年次)	変更理由・備考	検証結果 (統計研究研修所記入欄)
提供項目等〔世帯票〕	匿名化処理基準		○:原則そのまま提供 ▲:匿名化を講じて提供 ×:提供しない		
	世帯員番号	○		○	
世帯主との続柄	○		○		
性	○		○		
出生年月	▲	年齢階級で提供 90歳以上トップコーディング	▲	同左	
配偶者の有無	○		○		
医療保険の加入状況	○		○		
最多所得者か否か	▲	「最多所得者」、「家計補助者又は被扶養者」の2区分にリコーディング	▲	同左	
公的年金・恩給の受給状況	▲	「福祉年金」、「恩給」を「その他」に統合	▲	同左	
乳幼児の日中における保育者の状況	○		○		
手助け見守りの要否	▲	手助け見守りを要する方が2人以上いる世帯はレコード削除	▲	同左	
日常生活の自立の状況	○		○		
自立の状況になってからの期間	▲	「1月未満」「1～3月未満」「3～6月未満」「6月～1年未満」「1年未満」に統合	▲	同左	
要介護認定の有無	▲	要介護認定を受けている方が2人以上いる世帯はレコード削除	▲	同左	
同別居の状況	○		○		
主に手助けや見守りを要する方からみた続柄	○		○		
主に手助けや見守りをしている方の性	○		○		
在卒の有無	▲	「3 在学したことがない」を「2 卒業」に統合	▲	同左	
学校の種類	▲	「1 小学・中学」を「1 小学・中学以下(在学したことがないを含む)」とする	▲	「1 小学・中学」を「1 小学・中学以下(在学したことがないを含む)」とする 「1 小学・中学」又は「2 高校・旧制中」の再掲の「1 特別支援学校・特別支援学級」は「削除」	「1 小学・中学」と「高校・旧制中」の補間(再掲)の特別支援学校・特別支援学級(0.17%)は、出現率が低いため、削除。
公的年金の加入状況	○		○		
別居の子の有無	○		○		
最も近くに住んでいる子の居住場所	○		○		
5月中の仕事の有無	▲	主に通学で仕事あり、家事・通学以外のことが主で仕事あり(「その他」)に統合	▲	同左	
1週間に仕事をした日数	○		○		
1週間に仕事をした時間	▲	80時間以上でトップコーディング	▲	同左	
就業期間	▲	50年以上でトップコーディング	▲	同左	
仕事の内容(職業分類)	○		○		
勤め・自営かの別	○		○		
勤め先での呼称	○		○		
企業規模・官公庁の別	○		○		

(注1) 初めて匿名データを作成する統計調査の場合は、「匿名化処理基準」欄は使用しない。

(注2) 記載例を参考に必要な事項を記載し欄を追加する。

## 匿名データの審査表

統計調査名	国民生活基礎調査		平成28年 (追加年次)	変更理由・備考	検証結果 (統計研究研修所記入欄)
<b>提供項目等〔世帯票〕</b>	匿名化処理基準				
	○:原則そのまま提供 ▲:匿名化を講じて提供 ×:提供しない				
就業希望の有無	○		○		
仕事の形の希望	○		○		
すぐにも仕事につけるか	○		○		
仕事を探しているか	○		○		
仕事につけない理由	○		○		
<b>提供項目等〔健康票〕</b>	○:原則そのまま提供 ▲:匿名化を講じて提供 ×:提供しない				
入院・入所の有無	○		○		
自覚症状の有無	○		○		
自覚症状名	○		○		
主自覚症状名	○		○		
主自覚症状の治療状況	○		○		
通院の有無	○		○		
傷病名	○		○		
主傷病名	○		○		
日常生活影響の有無	○		○		
日常生活影響の事柄	○		○		
普段の活動ができなかった日の有無	○		○		
過去1か月間の普段の活動が出来なかった日数	▲	25日以上でトップコーディング	▲	同左	
健康意識	○		○		
悩みやストレスの有無	○		○		
悩みやストレスの原因	○		○		
最も気になる悩みやストレスの原因(主原因)	○		○		
悩みやストレスの相談状況	▲	出現頻度の低い事項を統合	▲	同左	
主原因の相談状況	▲	出現頻度の低い事項を統合	▲	同左	
1日平均睡眠時間	○		○		
睡眠による休養状況	○		○		
こころの状態(6項目)	○		○		
こころの状態の合計点	○		○		
飲酒状況	○		○		
飲酒量	○		○		
喫煙の状況	○		○		
平均喫煙本数	○		○		
健康のために日頃実行している事柄	○		○		
健診受診の有無	○		○		
どのような機会に受診したか			○	新規	
健診を受けなかった理由	○		○		
過去1年間がん検診状況	○		○		
どのような機会に受診したか			○	新規	
過去2年間の女性がん受診状況	○		○		
どのような機会に受診したか			○	新規	

(注1)初めて匿名データを作成する統計調査の場合は、「匿名化処理基準」欄は使用しない。

(注2)記載例を参考に必要な事項を記載し欄を追加する。

## 匿名データの審査表

統計調査名	国民生活基礎調査		平成28年 (追加年次)	変更理由・備考	検証結果 (統計研究研修所記入欄)
提供項目等〔所得票〕	匿名化処理基準		○:原則そのまま提供 ▲:匿名化を講じて提供 ×:提供しない		
	性	○		○	
出生年月	▲	年齢階級で提供 90歳以上トップコーディング	▲		
総所得	▲	トップコーディング 単独世帯1,100万円以上 2人以上世帯2,200万円以上	▲	同左	
雇用者所得	▲	トップコーディング 単独世帯800万円以上 2人以上世帯1,700万円以上	▲	同左	
事業所得	×		×		
農耕・畜産所得	×		×		
家内労働所得	×		×		
財産所得	×		×		
公的年金・恩給	▲	トップコーディング 単独世帯300万円以上 2人以上世帯500万円以上	▲	同左	
雇用保険	×		×		
児童手当等	×		×		
その他の社会保障給付金	×		×		
仕送り	×		×		
企業年金・個人年金等	×		×		
その他の所得	×		×		
税金＋社会保険	▲	トップコーディング 単独世帯250万円以上 2人以上世帯490万円以上	▲	同左	
所得税	×		×		
住民税	×		×		
社会保険料	×		×		
固定資産税	×		×		
企業年金・個人年金等の掛金	▲	トップコーディング 単独世帯40万円以上 2人以上世帯80万円以上	▲	同左	
生活意識	○		○		
提供項目等〔貯蓄票〕	○:原則そのまま提供 ▲:匿名化を講じて提供 ×:提供しない				
貯蓄等の有無	○		○		
貯蓄現在額	▲	トップコーディング 単独世帯6,300万円以上 2人以上世帯9,000万円以上	▲	同左	
貯蓄の増減	○				
減少額	▲	トップコーディング 単独世帯800万円以上 2人以上世帯1,300万円以上	▲	同左	
減少理由	○		○		
借入金の有無	○		○		
借入金残高	▲	トップコーディング 単独世帯2,400万円以上 2人以上世帯4,000万円以上	▲	同左	

(注1) 初めて匿名データを作成する統計調査の場合は、「匿名化処理基準」欄は使用しない。

(注2) 記載例を参考に必要な事項を記載し欄を追加する。